天童市議会だより

2007
11.1
No.118
TENDO

９月23日に実施された市議会議員選挙は、即日の午後９時10分から、大勢の市民が見守るなか開票作業が行われました。（天童市スポーツセンター総合体育館）

臨時会

投票により議長・副議長を選出 …… 新議員の紹介（Ｐ２～３）
初　議　会（Ｐ４～５）

９月定例会

中心市街地の活性化方策は …… 一般質疑（Ｐ６～９）

自主防災会、訓練への取り組み状況は …… 総括質疑（Ｐ10～13）

を紹介します

選した22人の議員です。
に明るく住みよい、生きがめにがんばります。

紹介事項

私の抱負

議席番号　氏　名　年齢

所属政党　当選回数

住所：
Tel：

○災害のない安全安心な地域づくり○市西部開発と農業の振興

10 **武田　達郎** 67歳

無所属　2回

住所：天童市大字大町316
Tel：653-4309

教育環境整備、明日の農業、観光振興、元気出る天童をつくります。

7 **森谷仙一郎** 49歳

無所属　2回

住所：天童市大字川原子1640
Tel：656-2565

「もったいない市政と議会を改める」このためにがんばります。

4 **矢萩　武昭** 62歳

無所属　1回

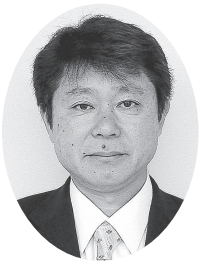
住所：天童市大字老野森414-1
Tel：653-8014

若く自由な発想をもって市民とともに市の未来の設計図を模索する

1 **矢吹　栄修** 33歳

無所属　1回

住所：天童市小路2-4-34
Tel：653-2496



初心を忘れず。安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします。

11 **佐藤　正男** 48歳

無所属　3回

住所：天童市大字蔵増甲893
Tel：653-5132

市政の課題や将来構想を市民一人一人と共有できるような橋渡し役

8 **赤塚幸一郎** 61歳

無所属　2回

住所：天童市大字貫津236
Tel：653-9389

子供達の笑顔が町中にあふれるように、元気に精一杯がんばります。

5 **山口　桂子** 45歳

無所属　2回

住所：天童市久野本3-8-10
Tel：653-8266

子育て安心、長生き安心、観光の活発な街づくりの為に働きます。

2 **狩野　佳和** 42歳

無所属　1回

住所：天童市田鶴町4-18-22-102号
Tel：653-6843

市民の意見を市政に反映、安心安全にくらせる町づくりに務めます。

12 **後藤　和信** 58歳

公明党　3回

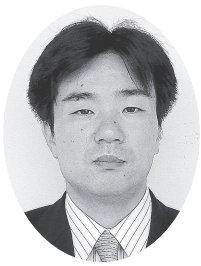
住所：天童市泉町2-11-32
Tel：653-7750

額に汗して働く人達が幸せで、安心して子育てのできるまちの実現。

9 **結城　義巳** 65歳

無所属　2回

住所：天童市大字貫津1156
Tel：654-3679



あたり前のことですが、市民生活が第一を掲げ市政発展に努力します。

6 **木村　竹虎** 35歳

民主党　2回

住所：天童市老野森3-8-25
Tel：656-9766

天童を活気ある元気なまちづくりの為に、真剣勝負で頑張ります。

3 **松田　光也** 55歳

無所属　1回

住所：天童市大字高木929
Tel：654-5635

新議員22人

9月23日の選挙で当
6万3千市民の皆さんと共
いのもてるまちづくりのた

新議員の年齢構成

年　齢	人　数
30～39	3
40～49	4
50～59	6
60～69	9

安全で安心して暮らせ天童市を目指します。

22 **小澤　精** 66歳
無所属　4回
住所：天童市大字荒谷2443
Tel：653-2501

初心に返り誠心誠意で信念を貫き、市民皆様の負託に答えます。

19 **淺井　健一** 68歳
無所属　5回
住所：天童市大字高擶北53
Tel：655-2415

真摯に市民皆様の声に耳をかたむけ、想いをカタチにします。

16 **鈴木　照一** 39歳
無所属　4回
住所：天童市老野森2-7-11
Tel：653-8168

市民の声を市政に届け、活力のあるまちづくりに全力を尽くします

13 **山崎　諭** 58歳
無所属　3回
住所：天童市大字蔵増甲1067
Tel：653-8255

市民の暮らしを守るため、市民の立場を貫いてがんばります。

20 **伊藤　和子** 59歳
日本共産党　6回
住所：天童市東本町2-4-11
Tel：653-5196

元気、いきいき、子孫に誇れるまちづくりをモットーに頑張ります

17 **伊藤　護國** 64歳
無所属　4回
住所：天童市大字道満256
Tel：654-6667

農業・くらし・福祉を大事にする市政をつくるために頑張ります。

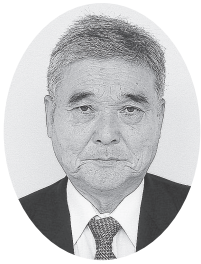
14 **石垣　昭一** 58歳
日本共産党　3回
住所：天童市大字寺津158
Tel：653-3715

市民の市政、安心して働ける環境作り少子高齢化社会に対する対応

21 **秋葉　忠** 64歳
無所属　6回
住所：天童市大字高擶北47-2
Tel：655-2474

「あなたの声を市政に」を政治信条に12年初心にかえってチャレンジ

18 **水戸　保** 56歳
無所属　4回
住所：天童市大字奈良沢乙13
Tel：653-7767



経験と創意で対話を深め「夢と希望のもてるまち」を目指して取組みます。

15 **小松　善雄** 65歳
無所属　3回
住所：天童市小路2-6-32
Tel：653-4847

初議会（第４回臨時会）

10月５日に議長、副議長の選挙が行われました

小澤　精　議長
伊藤護國　副議長　を選出

常任委員会委員等
議会の構成決定する

10月5日に開かれた改選後の初議会において、投票による選挙によって議長、副議長を選出しました。また、10月11日の本会議において各常任委員をはじめ、議会選出監査委員や各種審議会委員等の選任を行い、新しい議会の構成が決定しました。

任期満了に伴う選挙管理委員会委員と同補充員、各財産区管理会委員の選挙については、議長の指名推選により決定しました。

◆議長選挙の投票結果

○小澤　精　二十票
水戸　保　一票
無効票　一票

◆副議長選挙の投票結果

○伊藤　護國　一九票
山崎　諭　二票
無効票　一票

委員会の構成

◎印　委員長
○印　副委員長

委員会名	人数	委員名			
総務教育常任委員会	7	◎後藤　和信	○山口　桂子	秋葉　忠	伊藤　和子
		水戸　保	佐藤　正男	狩野　佳和	
環境福祉常任委員会	7	◎結城　義巳	○石垣　昭一	伊藤　護國	小松　善雄
		山崎　諭	武田　達郎	赤塚幸一郎	
経済建設常任委員会	7	◎森谷仙一郎	○木村　竹虎	淺井　健一	鈴木　照一
		矢萩　武昭	松田　光也	矢吹　栄修	
議会運営委員会	7	◎小松　善雄	○武田　達郎	佐藤　正男	結城　義巳
		鈴木　照一	赤塚幸一郎	伊藤　和子	
議会だより編集委員会	6	◎山口　桂子	○木村　竹虎	伊藤　和子	鈴木　照一
		狩野　佳和	矢吹　栄修		

就任のあいさつ

議　長　小　澤　　精

副議長　伊　藤　護　國

改選後の初議会におきまして、議長並びに副議長の要職に再任及び選任されましたことは、身に余る光栄でありますとともに、改めてその職責の重大さを痛感しております。

昨今、地方自治を取り巻く環境はめまぐるしい変革期を迎えておりますが、天童市においても同様であり、より一層の魅力のあるまちづくりが求められます。

こうした中において、もとより微力ではありますが、市民皆様の負託にこたえるために、民主的な議会運営に全力を傾け、天童市勢の着実な発展と、市民福祉の向上に尽力していく所存でありますので、皆様方の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

議会選出の委員・組合議員

▼監査委員
山崎　諭

▼農業委員
武田　達郎

▼東根市外二市一町共立衛生処理組合議員
淺井　健一　　鈴木　照一
赤塚幸一郎

▼山形県後期高齢者医療広域連合議会議員
結城　義巳

▼都市計画審議会委員
秋葉　忠　　淺井　健一
矢萩　武昭　　松田　光也
狩野　佳和　　矢吹　栄修

▼民生委員推薦会委員
山口　桂子　　松田　光也

▼乱川河川改修促進期成同盟会委員
小澤　精　　伊藤　護國
武田　達郎　　森谷仙一郎
松田　光也

▼天童東根村山線整備促進期成同盟会委員
小澤　精　　伊藤　護國
森谷仙一郎

▼田井橋再架促進期成同盟会委員
小澤　精　　山崎　諭
佐藤　正男　　武田　達郎
森谷仙一郎　　松田　光也

▼留山川ダム建設促進期成同盟会委員
小澤　精　　伊藤　護國
森谷仙一郎　　木村　竹虎
武田　達郎　　松田　光也

会派の構成

会派の構成に変更があり次のとおりになりました。

政和会
小松　善雄　　佐藤　正男
結城　義巳　　後藤　和信
木村　竹虎　　淺井　健一
水戸　保　　山崎　諭
松田　光也　　矢吹　栄修

かがやき
武田　達郎　　鈴木　照一
秋葉　忠　　森谷仙一郎
山口　桂子　　矢萩　武昭
伊藤　護國

つばさ21
赤塚幸一郎　　狩野　佳和

日本共産党天童市議団
伊藤　和子　　石垣　昭一

※議長（小澤　精）は、会派に所属しないことになっています。

各種委員等の選挙

（※天童市選挙管理委員及び同補充員は、地方自治法第182条第１項及び２項により、議会においてこれを選挙することになっています。財産区管理委員は、天童市財産区管理会条例の第４条により、議会においてこれを選挙することになっています。）

委員等の名称	人数	委員名			
選挙管理委員会委員	4	水戸部秀一（三日町）	後藤　昭七（蔵　増）	大石　浩子（藤内新田）	齋藤　浩一（高　擶）
選挙管理委員会補充員	4	工藤　貞雄（南　町）	阿部眞美子（山　口）	石澤　聡（東芳賀）	藤山庄一郎（荒　谷）
干布地区財産区管理会委員	7	蜂谷　勝実 工藤　義美	水戸　保 工藤　正典	富樫　義昭 石山　光昭	奥山　嘉内
高擶地区財産区管理会委員	7	淺井　健一 工藤　明夫	押野　力 土屋　健吾	小山田忠雄 長岡　繁	瀬野　浅一
大字高擶有財産区管理会委員	7	押野　奎治 齋藤　浩一	淺井　健一 佐藤　繁雄	秋葉　忠 遠藤　浩一	岡崎　俊雄
大字荒谷有財産区管理会委員	7	東海林正悦 小澤　精	武田　巖 鈴木　東一	牧田　亮一 武田喜久雄	武田　安雄

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、８月29日、30日の２日間の日程で、10人の議員が行いました。農業行政や土地区画整理事業、不登校の問題などについて、市長、教育長の見解を求めました。

集落営農

品目横断的経営安定対策について

石垣昭一議員

天童市では唯一、寺津の集落営農組織が立ち上げられたが、現場での苦悩は深まるばかりである。米作を加えた法人組織などできるのか。農地を集積して一元的な経営を行っても、今の米価水準では展望が持てない。品目横断的経営安定対策での集落営農の対応について考えを伺いたい。

遠藤市長　品目横断的経営安定対策は、農業従事者の減少や高齢化による農業の生産構造の脆弱化、農地の保全機能の低下を防止し、また、意欲と能力のある担い手を中心とした、国際規律の強化に対応する農業の確立を目的として、国の施策としてスタートしたばかりである。

本市における集落営農についてはブロックローテーションによる転作大豆の取り組みを行っている寺津地区において、５月に寺津集落営農組合が設立され、すでに品目横断的経営安定対策への加入申込みを済ませたところである。

今後は、地域内でのありようについて話し合ってもらうため、生産組織の役員や農政推進員などを対象に情報の提供や啓発活動を行うとともに、これまで同様、集落営農の立ち上げのために、関係機関と連携をとりながら、支援していきたい。

寺津地区で行われている転作大豆

質問者と質問事項

（☆印は会派名）

☆日本共産党天童市議団

石垣昭一議員
- ＊品目横断的経営安定対策での農業経営の見通しについて

伊藤和子議員
- ＊芳賀土地区画整理事業の問題点について
- ＊新学校給食センター稼動に伴う問題と改善策について

☆政和会

結城義巳議員
- ＊近年の所得税及び市県民税に関する制度改正の動向について
- ＊食の安全・安心について

佐藤正男議員
- ＊災害に強いまちづくりについて

後藤和信議員
- ＊中心市街地の活性化について
- ＊広告収入について

高橋　博議員
- ＊教育行政について
- ＊急傾斜崩壊地域の対策について

☆天新会

山口桂子議員
- ＊市職員による「地域いきいき講座」について
- ＊各種審議会・委員会における女性登用について

武田達郎議員
- ＊地区別敬老会開催の実態について

伊藤護國議員
- ＊集中改革プランについて
- ＊天童市独自の土地政策について

☆つばさ

森谷仙一郎議員
- ＊中心市街地の活性化について
- ＊本市の観光・まつり・イベントについて

芳賀土地区画整理事業

市財政に及ぼす影響は

伊藤和子議員　**6月議会の建設常任協議会終了後に、芳賀土地区画整理事業地内の都市計画道路築造費の負担割合訂正の通知があった。当初は県と市が折半であったが、県が3分の1、市が3分の2になった場合、市財政に及ぼす影響と芳賀区域以南の道路整備手法はどうなるのか。**

遠藤市長　都市計画道路整備費の基本事業費に対する国庫補助金の補助率の変更はないが、県の厳しい財政状況を反映し、県と市の単年度ごとの協定に基づく負担割合の見直しが行われ、これまで県と市が折半をしていたものが県が3分の1、市が3分の2に変更された。

この見直しに伴い、基本事業費の内、市の負担は2億円程度増えることが見込まれているが、なお県に対して引き続き負担割合の見直しの要望を行う予定である。

また、芳賀区域以南の道路整備については、旧国道13号線の代替道路として県に整備してもらいたいと話し合いを進めている。

大規模宅地開発

雨水排水対策は万全か

佐藤正男議員　**大規模宅地開発に伴い設置される調整池が、どのような基準でどの程度の雨量まで被害を防げるのか。特に下流域の市民に十分な説明をし、理解を得る必要があると考える。**

雨水排水対策について、3月議会以降の進捗状況と今後のハード・ソフト両面の対応策について伺いたい。

遠藤市長　近年、想定を上回る集中豪雨が多発している状況下にあって、都市型浸水にどう対処すべきか、全国的に大きな課題となっており、本市でも同様であると認識している。

今後の新市街地の開発については、河川管理者と十分協議し、河川の能力にあった構造及び断面で計画を行い、下流流域に被害が及ばないよう、調整池や雨水浸透桝の設置などの雨水排水対策を講じていきたい。

ソフト面においては、各地域の自主防災会などを中心とした避難体制の強化など、啓発・啓蒙活動を行っていきたい。

食の安全・安心

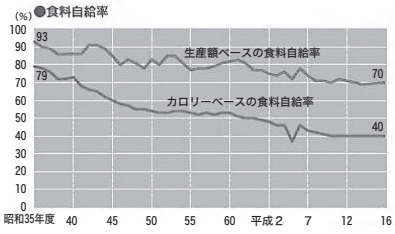
食料の自給率を高めるべきでは

結城義巳議員　**輸入食品には多くの有害物質が含まれている。（AERA9月3日号にも出ている）国内の食料は6割が外国依存である。「食は命なり」であり、子供達の将来を考えると大変心配である。国内農業を立て直し、食料の自給率を高める必要があることを、強く国に訴えるべきではないのか。**

遠藤市長　食品は、我々の生命や健康を維持するために必要不可欠なものであり、食品の安全性に信頼が置けないということになれば、社会生活の基盤そのものが脅かされる深刻な事態となる。

国全体の食料自給率については、昭和40年度では73％であったものが、平成18年度には39％となり、先進国で最低の水準となっている。一方、本市の食料自給率は、平成2年度には84％だったものが、次第に低下し、平成12年度で61％となり、以後同率で推移しており、国の自給率を上回ることから、地域への食料供給に一定の役割を担っていると考えている。

本市としては、市民の方と共に、とりわけ将来を担う子供達の健全育成を願う観点から、市長会等を通して、国の主権において輸入食品の安全性を確保するための監視体制の一層の強化、輸出国に対する管理指導の徹底を訴えていきたい。



資料「食料需給表」
農林水産省

てんてんカード

納税に活用できないか

後藤和信議員　**周辺に大型店の出店等により中心商店街の活性化が失われてきている。活性化のために取り組みをはじめた「てんてんカード」が普及していることにより、市の税金の納入環境の整備のひとつとして「てんてんカード」での納税をどのように考えているかを伺いたい。**

遠藤市長　納税については、地方自治法で現金もしくは有価証券による納付と定めているために、ポイントカードそのものでは納税できない。納めるためにはポイントを現金化しなければならない。

現在この方法を実施している宮城県多賀城市や福島県矢祭町は、商工会がポイント分の小切手を振り出し、市が金融機関で小切手を現金化して税金を納める仕組みになっている。小切手を振り出す手数料は、各商店街や商工会や協同組合が負担している。

この制度は、ポイントを現金化するシステムがあって初めて活用できるもので、システムの構築や、徴税コストなどの課題が多く、関係機関との話し合いにより、実現は難しいものと認識をしている。

教育問題

本市の不登校の状況は

高橋　博議員　**昨年の実態では、小・中学生の不登校生徒が増加しているようである。児童生徒数が減少しているなかで、本市の不登校の状況について伺いたい。また、各校に専門の相談員を配置したり、アウタースクールを開校しているが、その成果について伺いたい。**

酒井教育長　本市の平成18年度における30日以上欠席した児童・生徒は72名で、全体の1・27％になっている。平成17年度と比較して、やや増加しており、全国の増加傾向とほぼ一致している状況である。

教育委員会としては、これまで児童生徒相談専門員の配置や適応指導教室の開設など児童・生徒への不登校対策をとってきたが、今年度より国の「問題を抱える子供等への自立支援事業」の委託を受け、不登校対策指導員の配置や不登校対策研修会の実施、不登校関係の図書整備とその活用など新たな対策にも取り組んでいるところである。

市内小・中学校の不登校が1人でも減るよう、行政、学校挙げて取り組んでいきたい。

地域
いきいき講座

現状と周知方法は

山口桂子議員　**地域づくりやボランティア活動など市民のまちづくりの取り組みを支援し、学習活動の機会提供として「地域いきいき講座」が行われているが、その現状と周知方法はどうなっているか。また、受講を推進し、市政への積極的な市民参画を促すべきと考えるが、どのように推進しているか。**

遠藤市長　平成18年度は96の講座メニューを準備し、市民の学習グループからの派遣依頼に基づき、126回の講座に延べ173人の職員を講師として派遣し、3756名の市民から聴講をいただいている。

受講内容は、高齢者の健康管理や軽体操などの健康に関する講座や福祉制度についての講座が多く、また、ごみ減量化、地球温暖化などの環境問題への取り組みについての講座に依頼が増えている。

市民・各種団体への周知方法は、市広報紙やホームページへの掲載、各市立公民館や市立図書館などの市の施設を通じて行っている。

今後も市民の学習機会の充実を図り、市の施策などへの理解をさらに深めてもらい、行政課題等に対して市民と職員の意見交換を行うとともに学習の成果を地域課題の解決に生かすなど市政への市民参画を促進していきたい。

健康に関する講座への関心が高い

敬老会

見直す考えはないか

武田達郎議員　**敬老会は長い歴史もあり、今後も大事な行事と考える。しかし近年対象年齢も70歳から75歳になり出席者も減りつつある。一部市民からはマンネリ化して余り有難くないとの声も耳にするが、多くの方が一堂に会しての中身の濃い敬老会になるよう、場所や方法などを見直す考えはないか。**

遠藤市長　敬老会の運営については、これまで招待者の年齢の引き上げや記念品の廃止など、大幅な見直しをしながら行ってきた。また、対象者が増加しているため、今年度は市内全地域において会場を小学校等の体育館に変更するなどの見直しを行っている。

　また、一部の地域では市の敬老会とは別に町内会や分館ごとに開催しているところもあり、その対応は自治会などの自主的な判断に委ねたいと考えている。

　毎年、敬老会での交流や催し物を楽しみにしている多くの高齢者の方がいるので、今後とも、婦人会や町内会などと十分な連携を図りながら、参加者に喜ばれる敬老会になるよう努力していきたい。

土地政策

天童市独自の政策はできないか

伊藤護國議員　**団塊の世代の方々の、農業をやりたいという希望に応えるためにも、農地法で定められた5反歩以上という基準を見直し、1反歩からでも取得できる制度に改めるべきではないか。**

　また、その為に国に対して特区申請すべきでないか。

遠藤市長　これまで経済社会の中核を担ってきた団塊の世代の方々は、専門的な知識と現役と変わらぬ体力を持っているところから、担い手不足などの現状にある厳しい農業情勢の中で、地域農業への参加が注目されている。本市においては、ここ3年間で、退職後に農業をしたいと農家資格をとった方は5人おり、今後も増加すると思われる。

　農地の権利取得について全国から特区申請がなされたことから、1反歩まで引き下げる特例が認められている。

　ただしこれは遊休農地が多数存在することが条件であり、全国に先駆け遊休農地対策に取り組んできた本市は、その条件に合致しないものと判断される。基準の見直しについては制度改正を要望していきたい。

中心市街地

活性化の方策はないか

森谷仙一郎議員　**駅から温泉までを見ると街全体が年々暗くなって、シャッターが閉まって元気がないように見える。**

　この現状を把握し、活性化に向けた施策を講じているのか。また、空き店舗解消策をどのように考えているのか。

遠藤市長　駅前通り商店街は、長年、本市の商業の中心的な役割を担ってきただけでなく、本市の顔としての役割を果たしてきた。しかし、新市街地への大型店の出店などにより、売り上げの減少や空き店舗が目立ち始め、駅前通りを始めとする中心市街地商店街の集客力は大幅に落ち込んでいる現状にあり、昨年行った実態調査の結果、駅前通り商店街の空き店舗率は、市全体が12％前後なのに対して18％と若干高くなっている。

　これまで本市では、中心市街地の活性化を図るため、パルテ内ヤマザワ撤退後の跡地の利活用やヤマザワ天童店閉店に伴う再開要請や中心市街地商店街の空き店舗を借り上げ、事業を始める人を支援するチャレンジショップ事業に取り組んできた。

　今後も駅前通りを始めとする中心市街地の活性化、にぎわいのあるまちづくりについて、商工会議所、商店街と連携を強めながら積極的に進めていきたい。

中心市街地の活性化が望まれる

総括質疑

８月31日、提出された議案に対し、総務常任委員会及び決算・予算特別委員会の各分科会での審査に入る前に、総括的な質疑を行いました。質疑の主な内容は次のとおりです。

質疑者一覧

（本会議）
◆厚生常任委員会　伊藤　和子

（決算特別委員会）
■文教経済分科会　赤塚幸一郎
■建設分科会　佐藤　正男
■総務分科会　石垣　昭一
■厚生分科会　山崎　諭
■厚生分科会　結城　義巳
■厚生分科会　森谷仙一郎
■厚生分科会　伊藤　和子

（予算特別委員会）
★文教経済分科会　奥山　成也
★建設分科会　木村　竹虎
★総務分科会　結城　義巳
★厚生分科会　伊藤　和子

■【認第13号天童市立天童病院事業会計決算】についての質疑

市立天童病院

欠損金は何で補填したのか

赤塚委員　**市立天童病院企業会計の18年度決算について、当初予算に対し医業収入が大幅に減額となり、およそ２億７０００万円の欠損となっている。その欠損額について、何で補填したのか。また、予算管理のあり方について、大幅な減額があらかじめ予測できたのに補正予算の提出がされなかった理由は何か伺いたい。**

長瀬天童病院事務局長　公営企業の決算については、地方公営企業法及び同施行令で、欠損金が生じた場合、第一に前年度から繰り越した利益があるときは、その利益をもって埋めること。第二には利益積立金をもって埋めることになっている。なお、それでも欠損金に残額があるときは翌年度に繰り越すものとされている。平成18年度においては２億７０８８万６０００円の純損失が生じたが、これを埋めるべき繰越利益はなく、さらに利益積立金もないので、全額、翌年度に繰り越したものである。

今後、繰越欠損金処理については、公営企業として医業費用の節減に努める一方、医業収益を増加させる企業努力をしていく。

また、当初予算と決算額とに大きな乖離が想定される場合は、収入・支出を精査し、予算執行の見通しを十分立てて、見通しが立った時点で補正等の対応をして、適正な予算執行を行っていきたい。

12月の完成をめざし建設中の天童病院

■【認第1号平成18年度天童市一般会計決算】についての質疑

除雪対策

豪雪と暖冬から学んだ教訓は何か

佐藤委員　**平成17年度は豪雪であったが、平成18年度は一転して暖冬となった。このことは我々に、多くのことを示唆しているのではないかと考える。除雪体制や町内会など自治組織との連携のあり方、業者への支援なども含めて、豪雪と暖冬から学んだ教訓について伺いたい。**

池田建設部長　平成17年度の豪雪では、大幅に当初予算を超え、補正対応を行った。一日中降りしきる雪など、一度に大量の雪に見舞われたため、除雪作業に大変な時間を費やしてしまったことや、数回の除雪作業を指示し対応したが、除雪機械の不足が生じたことも反省点である。また、狭い場所では、除雪だけでは道路幅員の確保ができず、町内会の協力を得ながら排雪作業を行い幅員の確保に対応した経過があるが、除雪後の道路の片側に堆積する雪の後片付けなどについて、今後とも市民に協力をお願いしなければならないと考えている。

平成18年度は一変して暖冬となり、シーズンを通しての稼働日数が少なく、委託業者の収入の面など、課題がある。

また、建設業者も少なくなっていることから、委託業者の確保が厳しい状況だが、業者の方とこれまでの反省点を踏まえ検討しており、早めの対応をしている。今後とも十分委託業者や市民の方と話をさせてもらいながら対応していきたい。

農業用
古ビニール

リサイクル推進事業
補助金減額の理由は

石垣委員　**農業用使用済プラスチックリサイクル推進事業補助金について伺う。古ビニール等の回収量が前年対比で増加しているが、補助金は減額されている。減額の理由を含め、収集の実績・実態とあわせて、農家負担はどう決定されているのか伺いたい。**

國井経済部長　桜桃の雨よけテントに使用される農業用プラスチックは、産業廃棄物に分類され、法律により発生者自らの責任で適切に処理することが義務づけられている。

本市では、平成11年度に農業用使用済みプラスチック適正処理推進協議会を設立し、市、農協及び市内の農業資材販売店の協力を得て、7月と11月の年2回に回収を実施している。平成18年度の収集実績は、農業用プラスチックが213トン、農薬空瓶が1万6419本、農薬袋が236キロとなっている。

経費については、協議会がリサイクル業者を選定する際、見積り合わせをして決定している。平成18年度は、1キロあたりの処理料が45円で、そのうち、市が協議会に対し5円の助成を行ったので、40円が農家の負担ということになった。平成19年度は、1キロで25円、3円の助成、差額22円が農家の負担になっている。

古ビニールを回収しリサイクルを推進

市営住宅

使用料未納者への
対策はどうするのか

結城委員　**市営住宅使用料の収入未済額が現年分と過年度分を合わせて577万円超ある。受益者としての義務を果たしていないが、入居時に未納者をなくす対策として、どのようなことをやっているのか。また、未納者に対してはこれからどのような対策をしていくのか。**

池田建設部長　滞納への対応策として、家賃滞納理由の聞き取り調査等を実施したり、電話、郵便による督促や催告を行ってきた。さらに、建設課の中に滞納整理のチームを編成し、住宅を訪問し使用料の納付を促している。

これからも定期的に訪問しながら滞納者を減らしていきたいと考えている。

また、住宅入居時には保証人を立ててもらっている。しかし、保証人の高齢化などの理由があり、徴収も場合によっては難しいこともある。いずれにしても入居者と密に相談を行いながら対応していきたいと考えている。

自主防災会

研修会や訓練への
取り組み状況は

山崎委員　**平成18年度末で、84の自主防災会が組織され92・3％の組織率になったとのことだが、助成された資機材が宝の持ちぐされになってはならない。各自主防災会設立後の研修会への参加や訓練の取り組み状況はどのようになっているのか伺いたい。**

大沼消防長　平成18年度の自主防災組織育成整備補助金については、資機材が未整備の11の自主防災会に対して、資材格納庫や発電機などの購入費として補助金を交付した。市全体では84の自主防災会のうち77の自主防災会に対して資機材の整備を図ったが、残りは平成19年度中に整備をする計画である。

自主防災会設立後の研修会については、毎年7月に庄内の山形県消防学校で行われるリーダー研修会に、新たに設立された自主防災会のリーダーの方々に参加してもらっている。昨年は7人の参加であった。

訓練の実施状況は、消火訓練、救急搬送、炊き出しなど、自主防災会が自主的に実施しており、平成18年度は延べ94回になっている。

9月9日に県と市合同の総合防災訓練が実施された

農業振興

園芸産地基盤整備事業
事業成果と今後の計画は

森谷委員　**農業振興費の天童市園芸産地基盤整備事業の成果は。また、今後の計画はどのようになっているのか伺いたい。**

國井経済部長　農業の担い手の高齢化や後継者不足による園地の荒廃、品種更新の遅れ、価格の低迷、農家が個々に果樹の改植を行い、産地形成が促進されないことや農業団体の選果機の機具等が老朽化し、作物の品質向上や均一化が進まないといった背景から、本市が園芸産地としての確立を図り、市場での優位性を確保するため、平成7年度から、この事業を実施した。

具体的には、生産者と関係団体機関が一体となって、県の推奨品種や有望品種を計画的に作付けし、安定した出荷を支援している。

平成18年度の品種更新のための苗木導入に関する補助は、さくらんぼ、りんご、桃など、合計で４００４本となっている。この事業の継続により、消費者が求める新品種の導入や市場でのブランド化が図られ、産地銘柄の確立に寄与している。

今後は、作物の品質や規格を均一にし、安定的に継続した出荷ができるように、生産者団体の選果施設や機械器具の整備支援を行い、付加価値を向上させるとともに、農業所得の向上を促していきたい。

苗木を導入し品種の更新を進めている

木造
住宅耐震

耐震リフォーム助成を
考えるべきでは

伊藤（和）委員　**木造住宅耐震診断業務委託料は10件分（1棟10万円・個人負担1割）であるが、山形市では1棟6万円である。診断内容がどう違うのか。山形市では協会が設立されたが、天童市の委託先は。また、山形市では耐震改修時の支援策を導入するようだが、天童市でもリフォーム助成を考えるべきでは。**

池田建設部長　6万円での診断については、外観的にみて倒壊の可能性について4段階の評価をする一般診断である。本市の診断業務委託料10万円の根拠は、一般診断法のほかに、精密診断法なみに建物の床下や小屋裏に潜り込み、目視、打診など、総合的に劣化度診断を行っている。

委託先は、診断士の登録者の中から天童市耐震診断士事務所協会を組織してもらい業務委託を行っている。天童市独自の制度や診断後の改修時の支援策については、今後の検討課題である。

◆【議第13号平成19年度天童市一般会計補正予算（第2号）】についての質疑

街路事業費

事業の具体的な
内容は何か

奥山委員　**この事業の具体的な場所とその内容はどのようなものか伺いたい。**

池田建設部長　ひとつは古城西まちづくり計画書作成の業務委託料50万円であるが、現計画区域に天童公園を含め区域を拡大しながら、天童公園と一体的に地域の歴史と文化を活かしたまちづくり計画書を作るものである。

２つ目は、住宅が密集している北久野本地区において防災性を高め、安全・安心なまちづくりを一層推進していく観点から、公共施設の整備改善を計画しながら、都市再生整備計画書を作成する経費１００万円である。

３つ目には、都市計画道路愛宕沼天童原線及び久野本若松線の用地取得費として、１８２１万１０００円の計上である。

急ピッチで整備が進む愛宕沼天童原線

小学校費

施設整備工事費の内容と今後の整備計画は

木村委員　**小学校施設整備工事費の具体的な工事内容並びに今後の整備計画はどのようになっているのか伺いたい。**

安喰教育次長　国の安全・安心な学校づくり交付金事業によって、蔵増小学校と天童北部小学校のグラウンド整備を行うものである。この事業は、国における平成20年度以降の事業の前倒しの調査があったときに、市の３カ年実施計画に基づき、国に対して要望を行ったところ採択の見通しが立ったため増額補正を行うものである。

　これらのグラウンドは、暗渠排水等が未整備のため、雨が降ると使用できない状態となっていた。工事の内容は、雨水の速やかな排水を行うための暗渠排水管の埋設や、表面排水のための側溝の築造、表面の荷重を分散させ不等沈下を防ぐための路盤工、表面における適度な固さと排水性を持つ良質な土によるクレイ舗装工を行うものである。

　これらの整備により、天候から受ける影響が少なくなり、子どもたちの体力向上を図ることができるだけでなく、地域住民の交流施設としても利用度が高まるものと考えている。

暗渠排水等で排水のよいグラウンドに整備する

議会のうごき

■７月
25日　市長要請厚生常任委員協議会
（後期高齢者医療制度について）
31～１日　政和会行政視察
（茨城県土浦市、群馬県館林市）

■８月
１～４日　天新会行政視察
（北海道網走市、北見市、江別市）
６日　議会運営委員会（申し合わせの確認について）
６日　各派代表者会（人事案件について）
８日　山形県市議会議長会議員研修会（ビッグウイング）
15日　東根市外二市一町共立衛生処理組合議会運営委員会
20日　議会運営委員会
20日　各派代表者会（人事案件について）
20日　東根市外二市一町共立衛生処理組合全員協議会
20日　東根市外二市一町共立衛生処理組合第１回臨時会
24日　市長要請全員協議会（セレモニーホール建設構想に対する要望への対応について）
25日　国会議員との懇談会（正・副議長）
27～９月11日　第３回市議会（９月定例会）
27日　議会だより編集委員会

■９月
６日　市長要請全員協議会（セレモニーホール建設構想に対する要望への対応について）
10日　議会運営委員会
10日　各派代表者会（台風９号の被害について）
10日　建設常任委員会現地調査
（台風９号被害状況について）
11日　文教経済常任委員会所管事務調査
（台風９号被害状況について）
11日　市長要請全員協議会
27日　議会だより編集委員会

■10月
１日　初当選議員説明会
２日　初会合、議員全員協議会
４日　各派会長会議、臨時議会運営委員会
５日　議員全員協議会、第４回市議会臨時会
５日　仮各派代表者会、交渉会派会議
９日　仮各派代表者会、臨時議会運営委員会
11日　市議会臨時会、各派代表者会
11日　議会だより編集委員会
15日　県・市町村行政懇談会（議長）
15日　各派代表者会（東根市外二市一町共立衛生処理組合議会議員の役職について）
17日　初当選議員研修会
19日　議会だより編集委員会

教育委員会委員

西尾信吾氏の任命に同意

　現教育委員会委員の加藤由紀子氏が、平成19年９月30日をもって任期満了になることから、後任として西尾信吾氏（68歳・中里）を任命することに同意しました。

臨時会

台風９号……被災農家へ農業経営支援資金融資

　10月11日の臨時会で、台風９号による被災農家に対して、利子補給するための補正予算114万8000円を可決しました。

　この支援策は、市農協の資金を活用し、300万円を限度に融資するもので、農協が１・25％、市が１％補給し、農家は実質無利子になるものです。

9月定例会

平成19年度第３回定例会（９月定例会）は、８月27日から９月11日までの16日間の会期で開かれました。

市長提出議案である決算議案13件、平成19年度天童市一般会計補正予算をはじめとする予算議案11件及び条例案件１件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託し審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。また、人事案件１件及び補正予算１件の追加議案２件の採決も行われました。

さらに、議員提案の意見書１件についても採決されました。結果は、下記のとおりです。（請願審査の結果については、18ページに掲載しています。）

審議日程

月日	内容
8.27	**本会議**（会期の決定、提案理由の説明、決算・予算特別委員会の設置など） **決算特別委員会**（決算議案概要説明） **予算特別委員会**（予算議案概要説明）
8.29 8.30	**本会議**（市政に対する一般質問）
8.31	**本会議**（一般議案に対する総括質疑） **決算特別委員会**（決算議案に対する総括質疑） **予算特別委員会**（予算議案に対する総括質疑）
9.3 9.4 9.5	**各委員会**（分科会）**審査**
9.11	**決算特別委員会**（各分科会委員長報告、質疑、採決） **予算特別委員会**（各分科会委員長報告、質疑、採決） **本会議**（委員長報告、質疑、討論、採決）

提出された議案とその結果

（市長提出議案）

議案番号	件名	結果
認第１号	平成18年度天童市一般会計決算	認定
認第２号	平成18年度天童市国民健康保険特別会計決算	認定
認第３号	平成18年度天童市老人保健特別会計決算	認定
認第４号	平成18年度天童市用地買収特別会計決算	認定
認第５号	平成18年度天童市財産区特別会計決算	認定
認第６号	平成18年度天童市交通災害共済事業特別会計決算	認定
認第７号	平成18年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計決算	認定
認第８号	平成18年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計決算	認定
認第９号	平成18年度天童市鍬ノ町土地区画整理事業特別会計決算	認定
認第10号	平成18年度天童市介護保険特別会計決算	認定
認第11号	平成18年度天童市市民墓地特別会計決算	認定
認第12号	平成18年度天童市水道事業会計決算	認定
認第13号	平成18年度天童市立天童病院事業会計決算	認定
議第13号	平成19年度天童市一般会計補正予算（第２号）	原案可決
議第14号	平成19年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第15号	平成19年度天童市老人保健特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第16号	平成19年度天童市用地買収特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第17号	平成19年度天童市財産区特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第18号	平成19年度天童市交通災害共済事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第19号	平成19年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第20号	平成19年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第21号	平成19年度天童市鍬ノ町土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第22号	平成19年度天童市介護保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第23号	平成19年度天童市市民墓地特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議第24号	天童市一般職の職員に対する退職手当の支給に関する条例の一部改正について	原案可決
議第25号	天童市教育委員会委員の任命について	同意
議第26号	平成19年度天童市一般会計補正予算（第３号）	原案可決

（議員提出議案）

議案番号	件名	結果
議会案第３号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決

（市長提出案件：第４回臨時会＜10/5～11＞）

議案番号	件名	結果
議第27号	平成19年度天童市一般会計補正予算（第４号）	原案可決
議第28号	政治倫理の確立のための天童市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について	原案可決
議第29号	天童市土地開発公社定款の一部変更について	原案可決
議第30号	天童市監査委員の選任について	同意

予算特別委員会

小学校施設整備工事費の増額補正や都市施設整備費の増額補正、問題を抱える子ども等の自立支援事業に要する経費等の計上など、合せて4億7373万3000円を追加する一般会計補正予算と各特別会計補正予算10件は、予算特別委員会に付託され、各分科会で審査された後、本会議において原案のとおり可決されました。

各分科会の審査の主なものは、次のとおりです。

文教経済分科会

公民館費の内訳は

委員　西原分館の活動状況は。

生涯学習課長　西原分館は、現在は建物がない状況ではあるが、今年度から公民館活動の年間事業計画を作成し、分館長・主事を中心として積極的に公民館活動を展開している。このため、分館活動育成交付金や分館長・主事報酬を追加したものである。

積極的に公民館活動を展開（西原地区）

建設分科会

古城西まちづくり計画書作成委託料の内容は

委員　対象区域を拡大する理由は。

都市計画課長　緊急車両の進入を容易にする等の防災面に加え、地域の歴史と文化を活かしたまちづくりを進めている。東村山郡役所資料館や曲輪群を擁する天童公園を対象区域に加え、観光・交流拠点施設であるわくわくランドとのネットワーク形成を図りたい。また、まちづくり交付金を活用し、天童公園の公有地化を進めるとともに、トイレや水辺環境などを整備する。

一般会計補正予算（第2号）のあらまし

補正額	4億7373万3千円
補正後の予算総額	182億4168万4千円

◆主な内容	（単位：千円）
財政調整基金元金積立金	299,110
国民健康保険特別会計繰出金	5,052
老野森土地区画整理事業特別会計繰出金	△2,600
鍬ノ町土地区画整理事業特別会計繰出金	17,800
土地購入費	18,211
都市計画公共下水道事業特別会計繰出金	40,173
都市施設工事費	18,500
消防団活動事業費	2,126
小学校施設営繕費	65,200
公民館施設整備事業費	1,140
西沼田遺跡整備事業費	150
旧東村山郡役所資料館運営費	365

厚生分科会

特定健診実施に向けてどう調整するのか

委員　特定健診等実施計画策定に関連し、特定健診が平成20年度から実施されるが、これまで健康福祉課で実施されてきたさまざまな健診との調整はどうなるのか。

高齢社会課長　特定健診の項目は、主にメタボリック症候群など生活習慣病の予防に焦点を当てたものである。これまで実施されてきた一般健診も予防という観点では同じであるが、各種健診の実態を精査し、健康福祉課と相談をしながら、健診の内容や健診料の設定など、具体的なことを詰めていきたい。

追加議案

スイミングスクールを移転新築

最終日に、スイミングスクール建設工事事業費補助金1億3000万円を追加補正する一般会計補正予算が可決されました。

温泉地内に全農ライフサポート山形㈱がセレモニーホールを建設することについて、温泉組合から再考の要望書が出ており、市が仲介に入り、スイミングスクール用地と交換することになったものです。

建設費3億7000万円のおよそ3割を市が補助するものです。

来年5月オープンの予定です。

2学期から稼働した新給食センター

決算特別委員会

一般会計（歳出）182億3630万8000円
特別会計（歳出）173億7423万1000円
を認定

平成18年度一般会計決算と国民健康保険特別会計決算及び10件の特別会計決算などの10件の特別会計決算及び市立天童病院事業会計、水道事業の2つの地方公営企業会計決算は、監査委員の決算審査意見書とともに提出されました。

これらの議案は、決算特別委員会に付託され、各分科会審査のあと、本会議において賛成多数で認定されました。各分科会審査の主な内容は次のとおりです。

総務分科会

男女共同参画社会推進事業費の内容は

委員　男女平等相談所の対応状況は。

総合政策課長　相談員は、民生児童委員や人権擁護委員を兼ねている方もおり、その委員としての立場で相談を受けた後、市役所総合政策課と連絡を取り、内容により県の相談センターや市の担当課に引き継ぐことにしている。

財政調整基金の有効活用を

委員　財政調整基金をもっと柔軟に活用できないか。

財政課長　現段階の財政調整基金の残高は約12億円である。

今後は政策的に何を重点的に進めていくか、3カ年実施計画などで行政課題を十分議論した上、財政調整基金の活用も含め、予算編成を進めていきたい。

厚生分科会

国民年金申請免除の実態は

委員　国民年金に係る申請免除の実態等はどうなっているか。

市民課長　国民年金の申請免除は、経済的な理由等により保険料納付が困難なとき、または、失業等により急激に収入が減少したときなど、申請し承認されれば保険料が免除される制度である。平成18年度は、法定免除、申請免除を含め、2540人である。

特定高齢者認定のハードルが高すぎないか

委員　介護予防事業に関して、地域支援事業に対する枠組みが大きく変わった状況の中で、特定高齢者の認定は、ハードルが高すぎたのでないか。

高齢社会課長　平成18年度は、62人の特定高齢者の方を選定し、実質8人が、11月から2月までの期間、事業に参加した。平成19年度は、市の健診を行った方に、国の指針に基づき、25項目からなるチェックリストを配布し、対象者の選定を行っていく。

委員　健診のときだけでなく、市で行う健康講座や教室、地域の事業でも積極的にチェックをかけ対象者を選定し、介護予防事業を展開してほしい。

討論

認第1号平成18年度天童市一般会計決算について、決算特別委員会では認定すべきとの報告でしたが、9月11日の本会議で反対の討論があり、採決の結果、賛成多数で認定されました。

《反対》

住基システム導入業務委託料だが、天童市では市民カード以上の機能はなく、平成18年度の交付件数は120件と少ない。国に情報を提供するだけのシステムで市民の安全が守れる保証がない。

鍬ノ町地区観光施設立地促進推奨金は、一部企業への優遇措置であり反対をしてきた。

また、芳賀地区土地区画整理事業認可のための計画書を作成したとしているが、宅地の需給見通しには疑問である。

農業の問題では、品目横断的経営安定対策などで大部分の農家を政策から排除しようとしている。一般会計歳出に占める農林水産費は2・9％と少なく、地域農業を守るものとなっておらず反対する。

文教経済分科会

森林情報館としての機能は果たされているか

委員　物販が約7割を占めているが、森林情報館としての機能は果たされているのか。

農林課長　たくさんの人に森林情報館に入ってもらい、木造の良さなどを味わってもらうことも大切な役割と考えている。また、建物の中だけでなく外でも事業を行えるので、野草展や植え付けの講習会、水晶山登山などを開催し、森林情報の発信に努めている。

道の駅の機能を併せもつ「もり～な天童」

今後は道の駅と森林情報館の機能について整理し検討していく必要がある。

教育振興扶助事業費の現状は

委員　年々増えているが、その認定基準や事業の財源は。

教育次長　経済的理由で就学が困難な児童・生徒に学用品費や修学旅行費を援助しているが、要保護は生活保護世帯、準要保護は生活保護基準額の1・3倍の所得で判断しており、毎年所得証明書を提出してもらい認定している。

財源については、経済情勢などにより援助世帯が徐々に増えている中で、国からの交付金は増えずに、市の一般財源が増加している。今後市長会などを通して国に交付金の増額を要望していきたい。

建設分科会

歩道切り下げ工事費補助金制度の見直しは

委員　宅地の出入口変更等により、三角板を設置していなくとも、歩道の切り下げ工事が必要なケースがある。こうしたケースも補助対象となるよう、要綱の見直しが必要では。

建設課長　この制度は、交通安全確保の観点から、あくまでも既存の三角板の撤去を目的とした、本市独自の補助制度である。事業の進捗状況を見ながら、いつかの時点で事業の区切りが必要なものと考えている。

雨水清池第2号幹線の整備状況は

委員　工事関連委託料、及び工事請負費のうち繰越明許分の内容は。

下水道課長　実施設計及び函渠築造工事を年度内に完成する予定だったが、雨水を流入させる立谷川の河川管理者との協議に時間を費やし、発注に遅れが生じた。実施設計後、今年1月に工事を発注し、前払金のみ平成18年度予算から支出、残額を繰り越した。なお、繰り越した工事は、今年7月に完成している。

平成18年度　各会計の決算額

（単位：千円）

会計名	歳入	歳出
一般会計	18,830,670	18,236,308
特別会計	17,680,727	17,374,231
国民健康保険	5,693,697	5,665,425
老人保健	5,570,612	5,491,706
用地買収	12,833	7,839
財産区	3,508	2,934
交通災害共済	17,481	15,638
都市計画公共下水道	2,432,079	2,381,380
老野森土地区画整理	660,139	640,102
鍬ノ町土地区画整理	202,418	195,199
介護保険	3,086,359	2,972,815
市民墓地	1,601	1,193

平成18年度水道事業の概要

◆経　営

当年度純利益	138,507,219円
当年度未処分利益剰余金	138,659,267円

◆業　務（前年比）

給水件数	23,372件	（1.23％増）
給水人口	62,629人	（0.03％増）
一日平均給水量	20,421㎥	（2.09％減）
普及率	99.1％	（0.3ポイント増）
有収率	90.2％	（前年同）

平成18年度市立天童病院事業の概要

◆経　営

当年度純損失	270,886,204円
当年度未処理欠損金	950,331,741円

◆業　務（前年比）

入院患者数	13,389人	（10.2％減）
外来患者数	47,798人	（ 6.7％減）

市民の声

市議会を傍聴して

齋藤　忠蔵（高擶）

ひさしぶりに天童市議会を傍聴いたしました。国政は安倍内閣から福田内閣にかわり、地方に光が射し込むのでしょうか、天童市に於いても少子高齢化が進み人口も減っているとの事であり不安です。

今回は、分館連絡協議会の研修会で20名参加しました。しかし、私達の他に傍聴者が少ないのには驚きました。

本会議場では、午前10時から「市政に対する一般質問」が行われました。農業問題・土地区画整理事業の問題・新学校給食センター移動に伴う問題と改善策を議員さんが質問して市長が答えるという形式でしたが、ありきたりの定例会では傍聴に行く人が少ないのではないかと感じてきました。

各会派から質問者を立て、質問時間を長くして執行部に問うだけではなく、一般市民の要望を聞いて発言をしているのでしょうが、質問内容が単調で傍聴していて質問議員の真意が伝わりませんでした。

地方財源も減っている中で天童市議会議員定数を20名にしてはとの声もありますが、先般、任期満了に伴い市議会議員の選挙がおこなわれて改選されました。22名の議員定数になりましたが地域から選ばれた議員の皆さんでありますので地域住民の意見・要望を聞いて発言をしていただき市民の代表として市民の声を市議会に反映していただければ傍聴者が多くなるのではないかと思います。

最後に、新議員の皆様方に古参議員皆様のご指導あれば市議会に活気が出てくるのではないかと思っております。

さらに議員皆様方のご活躍に期待申しあげます。

12月定例議会の日程(予定)

12月5日（水）開　会
10日（月）一般質問
11日（火）一般質問
12日（水）総括質疑・委員会
13日（木）委員会
14日（金）委員会
20日（木）閉　会

※請願の締め切りは、11月27日(火)正午までの予定です。
※なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は４件（内継続審査２件）で、所管常任委員会で審査したあと、結果は次のようになりました。

件　　名	提　出　者	付　託委員会	結　果
関の上地内道路整備と市道への格上げに関する請願	関の上町内会 役員　山口　隆男	建設	撤回
大清水橋（市道乱川矢野目線）の早期整備に関する請願	大清水町内会 会長　黄木　孝一	建設	審議未了
道路の維持管理について請願	立宿町内会 会長　高橋　則雄	建設	審議未了
地方財政の充実・強化を求める請願	連合山形地域協議会 議長　大浦　　淳	総務	採択

編集後記

●定数減となった改選後、新人議員も加わり新たな議会だより編集委員会になりました。

●市民の皆様に、より読みやすく、親しまれる議会だよりになるように工夫していきたいと思っています。

●議会だよりを読んでいただいた感想も沢山お寄せ下さい。委員会一同、紙面づくりに努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

《新編集委員》
委員長　山口　桂子
副委員長　木村　竹虎
委　員　伊藤　和子
〃　鈴木　照一
〃　狩野　佳和
〃　矢吹　栄修

発行　天童市議会　山形県天童市老野森一丁目1番1号　電話023（654）1111
編集　天童市議会だより編集委員会　印刷　藤庄印刷株式会社

ホームページ　http://www.city.tendo.yamagata.jp/

R100 古紙配合率100% 白色度75%再生紙を使用しています
市議会だよりは再生紙を使用しています。